



# 「がんばれ! チーム大分」

事務局 〒870-8503 大分市府内町 3 丁目 10 番 1 号  
大分県教育庁体育保健課内  
TEL097-506-5642/FAX097-506-1812

## 第 70 回国民体育大会 天皇杯順位 第 25 位

第 70 回国民体育大会において、「チーム大分」は、21 競技 68 種目で入賞、天皇杯得点 930.5 点を獲得し、天皇杯順位第 25 位の成績で大会を終えました。目標であった「天皇杯順位 10 位台」の奪還はなりませんでしたが、総合順位、獲得得点、入賞数全てで昨年を上回るなど「チーム大分」の選手・監督は最後まで戦い抜きました。



大分県代表团

### 〈現地激励会〉9 月 26 日 和歌山市紀三井寺公園陸上競技場

総合開会式を前に県代表团現地激励会が行われました。広瀬勝貞団長(県知事)、田中利明県議会議長、新田博之県体協副会長(新日鐵住金(株)常務執行役員大分製鐵所長)が選手を激励、養田智通総監督(県体育保健課長)が「目標を達成し、大分県の団結力を示す」と力強く決意表明を行いました。最後に、工藤利明副団長(県教育長)の「がんばろう三唱」で、10 位台を達成するために互いに健闘を誓い合いました。

### 〈会期前半〉

チーム大分の前半競技に勢いをつけたのがライフル射撃競技でした。昨年、少年の部でも大活躍した八川綾佑選手(関西大学)が、10m 立射 60 発種目で見事優勝。また、工藤湧士選手、山田愛選手(ともに由布高校)がビーム・ピストルでそれぞれ第 2 位、エア・ライフルで高野こえだ選手(中央大学)が同じく 2 位になりました。ライフル射撃競技全体としては競技得点 39 点を獲得する活躍でした。



工藤選手(左)・八川選手(右)

また、昨年を上回る活躍を見せたのが自転車競技。優勝こそ逃したものの 8 種目で入賞、競技得点 46 点を獲得しました。その中でも、昨年アスナビで県内就職した一丸尚伍選手(社会福祉法人太陽の家)は、1km タイムトライアルで昨年のタイムを 1 秒以上更新する好記録で第 2 位に入賞しました。

前半戦の最後には、5 倍競技の活躍が目立ちました。ボート競技舵手付きクォドルプルに出場した少年女子の大分県選抜は、他県クルーの追い上げを

### 第 70 回国民体育大会 総合成績

#### 1. 大分県の総合成績 ( )内は昨年成績

天皇杯順位・得点	25位(28位)	930.5点(896.0点)
----------	----------	----------------

#### 2. 都道府県総合成績

順位	県名	総合得点	順位	県名	総合得点
1位	和歌山	2257.00	25位	大分	930.50
2位	東京	2052.50	26位	福井	920.50
3位	愛知	1977.50	27位	三重	918.00
4位	埼玉	1904.50	28位	山口	904.50
5位	大阪	1806.50	29位	石川	887.00
6位	神奈川	1626.00	30位	香川	879.00
7位	千葉	1528.50	31位	福島	866.00
8位	福岡	1519.50	32位	茨城	839.00
9位	北海道	1393.00	33位	奈良	834.50
10位	京都	1293.50	34位	山梨	818.50
11位	岡山	1222.50	35位	富山	807.00
12位	兵庫	1215.50	36位	山形	801.50
13位	愛媛	1203.50	37位	鹿児島	799.50
14位	長野	1150.50	38位	秋田	774.50
15位	岐阜	1130.50	39位	新潟	767.00
16位	岩手	1099.00	40位	青森	722.50
17位	長崎	1070.50	40位	鳥取	722.50
18位	熊本	1038.50	42位	宮崎	707.50
19位	栃木	1029.00	43位	佐賀	687.50
20位	静岡	1015.50	44位	島根	648.50
21位	広島	1000.50	45位	沖縄	633.00
22位	群馬	997.50	46位	徳島	605.50
23位	宮城	956.50	47位	高知	576.50
24位	滋賀	940.00			

寄せ付けない圧倒的なタイム差で堂々の優勝。少年男子も見事第3位に入賞するなど、ボート競技全体では競技得点77点を獲得する大活躍を見せてくれました。

2年ぶりに入賞したバレーボール成年男子(大分三好ヴァイセアドラー)は第3位となり、競技得点30点を獲得しました。

そして、“優勝40点”を合言葉に、悲願の初優勝を目指したハンドボール少年男子。苦しい局面を監督、選手が一丸となって乗り越え、栄冠をつかみました。その他にも出場6選手が10種目において入賞を果たしたウエイトリフティング競技や3種目で入賞者を出したレスリング競技、また、成年女子と少年男子が第6位に入賞したフェンシング競技の活躍で、昨年を上回る競技得点を獲得し、後半競技に「チーム大分」の想いを託しました。



自転車競技



ハンドボール(少年男子)



バレーボール(成年男子)



ボート競技(少年女子)

### 〈会期後半〉

8倍競技として期待のかかるホッケー成年女子がベスト4をかけて岩手県と対戦。最後まであきらめない戦いでしたが、あと一歩力及ばず5位タイとなりました。

カヌー競技カナディアンシングルに出場した成年男子の長井海斗選手(大分県カヌー協会)が500mで第2位に入賞、同じく少年男子の佐藤洸誠選手(楊志館高校)が200mで第3位に入賞するなど4種目で入賞し、競技得点22点を獲得しました。

また、会期終盤に競技力の高さを見せたのが陸上競技、山岳競技、そして銃剣道競技でした。陸上競技では、少年女子A400mハードルで優勝した兒玉彩希選手(大分雄城台高校)の活躍を筆頭に、少年女子棒高跳で第2位に入賞を果たした乙津侑加選手(大分工業高校)や49年ぶりに成年少年女子共通の4×100mリレーで決勝に進出し、第7位に入賞した県選抜チームの活躍が光りました。



山岳(成年男子)

山岳競技ボルダリング種目の成年男子は、毎年あと一手、というところで入賞を逃してきただけに、「今年こそ」という強い気持ちで今大会に臨みました。予選を2位で通過した勢いを決勝においても発揮し、2人で5課題を制覇、県勢初となる優勝を成し遂げました。

そして、銃剣道競技成年男子は、昨年の成績(準優勝)を上回ることを目標に厳しい稽古に励んできました。準決勝で熊本県に惜敗したものの、続く3位決定戦で東京都に勝利し、第3位に入賞しました。

本大会では、5競技での優勝をはじめ、各競技で素晴らしい活躍が多く見られました。目標である「天皇杯順位10位台」には届きませんでしたが、選手たちの「チーム大分のために一つでも上へ」という強い想いや絆を感じさせる戦いでした。最後に、大会中はもちろんですが、和歌山国体に向けて、日々強化に取り組んでくれました監督、選手、そして競技団体の皆さん、本当にありがとうございました。



ホッケー(成年女子)



陸上競技

## ～ 大分県競技力向上対策本部 事務局より ～

○「がんばれ！チーム大分」Facebook ページを開設しました！ぜひ、ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/team.oaita>)

・「チーム大分」の活躍の様子や競技力向上に向けた取組を発信しています

○大分県教育委員会ホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/sports.html>)

Facebook ページ

QR コード ↓

